



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月2日

上場会社名 株式会社 極洋
コード番号 1301 URL <https://www.kyokuyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長 (氏名) 檜垣 仁志
四半期報告書提出予定日 2024年2月2日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5545-0703

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	201,614	5.5	6,949	14.5	6,993	16.1	4,985	16.4
2023年3月期第3四半期	213,387	6.4	8,124	42.2	8,339	38.3	5,964	49.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,622百万円 (13.2%) 2023年3月期第3四半期 5,852百万円 (97.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	464.87	
2023年3月期第3四半期	555.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	169,137	53,257	31.4
2023年3月期	146,301	46,966	32.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 53,072百万円 2023年3月期 47,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				100.00	100.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2024年2月2日)公表いたしました「2024年3月期配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	262,000	3.7	8,600	6.1	8,600	5.1	5,500	4.9	512.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2024年2月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) Ocean's Kitchen Property Management LLC 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	10,928,283 株	2023年3月期	10,928,283 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	200,774 株	2023年3月期	211,655 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	10,723,904 株	2023年3月期3Q	10,729,529 株

注) 当社は業績連動型株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には当該信託口が保有する当社株式が含まれております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
第3四半期連結累計期間	P6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(追加情報)	P8
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの脱却により、経済活動の正常化が進んだ一方で、急激な為替相場の変動やロシア・ウクライナ情勢の長期化に加え、中東情勢の緊迫化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

水産・食品業界におきましては、旺盛なインバウンド需要などにより、外食・観光産業の状況が改善してきたものの、ALPS処理水放出の影響を懸念する動きや、生産面におけるエネルギーや原材料価格、物流費の高止まりにより、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中で、中期経営計画『Build Up Platform 2024』（2021年度～2023年度）の最終年度として、『経営基盤の強化を図りながら、「事業課題への継続的取組み」と「持続的成長への挑戦」を柱とする戦略を進め、社会と極洋それぞれが共有すべき価値を創造していくことで、新たな成長への礎となる「高収益構造への転換」を目指す。』という基本方針のもと、目標達成に向け取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,016億14百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は69億49百万円（前年同期比14.5%減）、経常利益は69億93百万円（前年同期比16.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億85百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。詳細は「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」のⅡ当第3四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①水産事業セグメント

世界的な水産物市況の不透明感を背景に、流通・加工業者の手堅い買付状況が続いたことから、第3四半期連結累計期間では主要魚種のサケ、エビを中心に全体として販売が減少したものの、国内の需給バランスが整っていたことから、加工品を主体に一定の収益を確保しました。最大需要期である年末商戦においては、前年比で割安感のあったカニや魚卵などの高額商品が順調に推移しました。

海外事業については、輸出は円安を背景に青物の販売が増加した一方で、中国政府がALPS処理水放出を受けて日本産水産物の輸入を禁止したことによりホタテの販売が大幅に減少したため、前年同期を下回りました。海外現地販売においては、インフレに起因した消費減退により、北米での販売が落ち込みました。

この結果、売上は前年同期を下回りましたが、利益は前年同期を上回りました。水産事業セグメントの売上高は989億17百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益は41億39百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

②生鮮事業セグメント

寿司種を中心とする生食商材は、値上げの影響により販売減少の動きが見られたものの、コスト上昇を反映した価格の浸透により、収益は改善しました。マグロは昨年来の高値疲れから消費が減退し、冷凍品全般の販売が大幅に減少したところに、期首からの相場下落が加わり収益も悪化しました。海外まき網事業は、水揚げ量が減少し、売上・利益とも減少しました。国産養殖クロマグロについては、売上は前年同期比で伸長したものの、高止まりする飼料費が収益を圧迫しました。

この結果、売上・利益とも前年同期を下回りました。生鮮事業セグメントの売上高は506億64百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は15億28百万円（前年同期比67.3%減）となりました。

③食品事業セグメント

業務用冷凍食品は、製造コスト上昇に伴う値上げが影響し、販売数量減少の動きが見られたものの、価格改定効果により煮魚・焼魚や水産フライなどの売上が拡大しました。市販用冷凍食品は煮魚・焼魚のほか、フライ製品などの弁当用商材の販売が伸長しました。冷凍食品は全体として、自社工場製品の拡販と価格改定効果により、収益が大きく改善しました。

缶詰は、重点商材としているイワシ缶の販売は伸長したものの、値上げによる消費マインドの落ち込みにより、全体として販売が減少しました。おつまみ・珍味製品の売上は前年同期並みだったものの、価格改定により利益が改善しました。

この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。食品事業セグメントの売上高は504億17百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は22億40百万円（前年同期比202.0%増）となりました。

④物流サービスセグメント

冷蔵倉庫事業においては、前年比で年末商戦の水産物の荷動きが改善したこともあり、売上が拡大しました。利用運送事業においては、外部取引先からの受注が増加し、売上が伸長しました。

この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。物流サービスセグメントの売上高は12億15百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益は2億25百万円（前年同期比44.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ228億35百万円増加し、1,691億37百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ195億51百万円増加し、1,337億53百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ32億84百万円増加し、353億83百万円となりました。

負債合計は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ165億44百万円増加し、1,158億79百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ62億91百万円増加し、532億57百万円となりました。

この結果、自己資本比率は31.4%（前連結会計年度末比1.1ポイント減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました業績予想から変更しております。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2024年3月期配当予想につきましては、前回予想から1株当たり10円増配し100円に修正することといたしました。

詳細につきましては、本日発表の「2024年3月期配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,050	8,644
受取手形及び売掛金	33,079	45,312
棚卸資産	63,886	71,472
その他	10,196	8,337
貸倒引当金	△9	△12
流動資産合計	114,202	133,753
固定資産		
有形固定資産	18,912	21,294
無形固定資産	348	896
投資その他の資産		
投資有価証券	10,134	11,087
繰延税金資産	1,454	590
その他	2,845	3,110
貸倒引当金	△1,597	△1,596
投資その他の資産合計	12,837	13,192
固定資産合計	32,098	35,383
資産合計	146,301	169,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,563	11,604
短期借入金	23,783	40,716
コマーシャル・ペーパー	15,000	15,000
未払法人税等	2,091	384
引当金	1,021	476
未払金	8,261	5,854
その他	6,228	7,836
流動負債合計	64,950	81,871
固定負債		
長期借入金	29,816	31,224
引当金	414	382
退職給付に係る負債	3,909	1,834
資産除去債務	16	16
繰延税金負債	—	354
その他	226	194
固定負債合計	34,383	34,007
負債合計	99,334	115,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,330	1,330
利益剰余金	37,317	41,225
自己株式	△575	△543
株主資本合計	43,736	47,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,704	4,392
繰延ヘッジ損益	△72	△58
為替換算調整勘定	470	1,071
退職給付に係る調整累計額	△296	△8
その他の包括利益累計額合計	3,805	5,396
非支配株主持分	△575	185
純資産合計	46,966	53,257
負債純資産合計	146,301	169,137

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	213,387	201,614
売上原価	188,010	176,154
売上総利益	25,377	25,459
販売費及び一般管理費	17,252	18,510
営業利益	8,124	6,949
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	139	155
為替差益	144	129
受取保険金	183	88
補助金収入	77	51
持分法による投資利益	53	—
その他	160	146
営業外収益合計	758	572
営業外費用		
支払利息	356	431
持分法による投資損失	—	10
訴訟損失引当金繰入額	7	8
その他	179	77
営業外費用合計	544	527
経常利益	8,339	6,993
特別利益		
固定資産処分益	307	1
退職給付制度改定益	—	1,717
受取和解金	—	113
投資有価証券売却益	—	8
受取保険金	45	—
特別利益合計	352	1,841
特別損失		
固定資産処分損	4	10
減損損失	28	6
災害による損失	41	1,526
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	74	1,544
税金等調整前四半期純利益	8,617	7,290
法人税、住民税及び事業税	2,761	1,566
法人税等調整額	△75	782
法人税等合計	2,686	2,348
四半期純利益	5,931	4,942
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,964	4,985
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△32	△43

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	688
繰延ヘッジ損益	△505	13
為替換算調整勘定	456	690
退職給付に係る調整額	70	288
その他の包括利益合計	△79	1,679
四半期包括利益	5,852	6,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,879	6,576
非支配株主に係る四半期包括利益	△27	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職金制度の改定)

当社は2023年10月1日付で60歳から65歳への定年延長等に伴う退職給付制度の変更を行っております。この制度変更により、退職給付債務が1,717百万円減少し、過去勤務費用が同額発生しております。過去勤務費用は、その発生時に処理しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産事業	生鮮事業	食品事業	物流サービス	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	110,910	56,317	44,811	1,021	326	213,387	—	213,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,661	3,768	6,905	866	1,073	29,276	△29,276	—
計	127,572	60,086	51,716	1,888	1,400	242,664	△29,276	213,387
セグメント利益	3,348	4,668	741	156	143	9,058	△933	8,124

- (注) 1. セグメント利益の調整額933百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,021百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産事業	生鮮事業	食品事業	物流サービス	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	98,917	50,664	50,417	1,215	400	201,614	—	201,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,780	4,012	7,956	929	1,127	32,806	△32,806	—
計	117,697	54,677	58,373	2,144	1,527	234,420	△32,806	201,614
セグメント利益	4,139	1,528	2,240	225	159	8,292	△1,343	6,949

- (注) 1. セグメント利益の調整額1,343百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,100百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、セグメント区分を変更しております。これに伴い、従来「水産商事」、「食品」、「鯉・鮪」、「物流サービス」、「その他」としていたセグメント区分を、「水産事業」、「生鮮事業」、「食品事業」、「物流サービス」、「その他」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。